

かみくげ 恐竜の里新聞

平成 22 年 10 月 25 日

発行…上久下恐竜の里づくり協議会

第 27 号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001「元氣村かみくげ」が
出資者を募集

丹波竜の里「元氣村かみくげ」設立準備委員会では当施設を「企業組合」として設立することになりました。設立にあたり、地域のみなさんから出資者となっていただけの方々を募集します。

元氣村かみくげは丹波市の支援を受けて順次施設を充実させながら収益事業体としての方向に向かっていきます。私たちのふるさと「かみくげ」がさらに元気に、活気ある、楽しい場所となるような地域づくりをめざしています。この活動にみなさんのご参加をお待ちしています。

詳しくは 10 月末に各自治会より「元氣村かみくげ出資者募集のお知らせ」のチラシを各戸に配布します。お問い合わせについては地域づくりセンター事務局（78-0001）まで。

受賞・入賞
おめでとうございます◆丹波栗品評会で
丹波新聞社社長賞

10 月 11 日、篠山市「味まつり」会場で開かれた丹波栗品評会で村上鷹夫さん（下滝）が丹波新聞社社長賞を受賞されました。

◆ひょうご県民
ボランティア活動賞

10 月 16 日、県立有馬富士公園で開かれたひょうご県民ボランティア活動賞授与式において、小林カキ（青田）が団体の部で県民ボランティア活動賞を井戸県知事から受賞されました。給食

搬送ボランティア（サンタグループ）として長年の活動を讃えられたものでグループを代表して受賞されました。



◆グランドゴルフ大会入賞

10 月 19 日スポーツピア市島で行われた丹波市グランドゴルフ大会において山南川代チーム（上久下地区代表 6 名）が準優勝しました。また、個人の部では永井岩男さん（下滝）が 300 人の参加者のなかで準優勝に輝きました。

自治会行事から

◆青田ー落語会

10 月 17 日、敬老会に吉本興業の桂三金さんらを招いて古典落語とマルチコメディパーフォーマンスが行われ 50 人の会員、自治会役員らはハラハラドキドキと楽しいひと時を過ごしました。

◆下滝ー大ケヤキの剪定

10 月 21 日、大歳神社境内のケヤキの剪定を始めました。このケヤキは丹波市の名木・名林 100 選にも選ばれており、幹周囲 5 メートル、高さ 30 メートルの大きさを市内では屈指の推定樹齢 300 年以上の大木のケヤキ。近年、樹木医の診断の結果、先端枝葉の枯損が激しいことから枯死枝を除去し、名木として保護保存することになりました。



私の上久下生活

ーター・ンター・ン編 ④

呉田 哲一さん
まどかさんご夫妻
(上滝)



呉田哲一さん(33歳)とまどかさんご夫妻は2年前に大阪中央区の自宅から上滝に越してこられました。ご夫妻には8歳と5歳の女の子、1歳の男の子があり5人家族で田舎暮らしを楽しんでおられます。

哲一さんは大阪の職場(建築、設計関係)に2時間かけて車通勤されており、奥さんは子育てのかたわら畑を借りて黒大豆や野菜づくりに精を出しておら

れます。田舎暮らしを始めるきっかけとなったのは、テレビや雑誌などの田舎暮らしの様子を見るにつけ、自分も憧れるようになったそうです。哲一さんの好きな犬も都会の住宅で飼うことはむずかしいですが、田舎だったら犬を飼うこともでき、今はお家で大型犬と一緒に生活されています。

また、子どもさんも都会にいたときは虫や昆虫が苦手だったそうですが、上滝に来てからは平気でカエルや虫にも触れていると笑っておられます。田舎に住居を探すと当たって、氷上町やその周辺の物件も見えて回りましたが、上滝の物件を見に来た時に、周囲の自然や環境を子どもさんが一番に気に入ったそうです。

都会では考えられない、ゆったりとした時間が過ごせると言われています。一度田舎生活をするとなかなか町の狭いところで住みたいと思わないとも話されています。

哲一さんは自治会活動にも積極的に参加されており、若者会での活動や、秋祭りでは神楽舞で各戸を訪問したりして、周囲の自治会員さんからも短い期間によく地域に溶け込んで頑張ってくれていて頼もしく思うと呉田さんのターインを喜んでいました。

取材中も3人の子どもさんが座敷狭しとのびのび元気に遊んでいるところを見たり、帰りに家族皆さんで玄関先で見送ってくださる風景がなんともほえましく、心地よく目に映りました。

(レポーター…村上 茂)

恐竜焼き出張販売が

各地で人気です

◆10月5日 丹波の森公苑で開催された「たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会」総会において丹波市・篠山市から参加の理事ら40人はアンコ入り、お好み焼き風それぞれの恐竜焼きを試食しました。焼きたてを試食した参加者の皆さんからは大好評で、スタッフも恐竜焼きに自信をのぞかせていました。



◆10月23日 県民局、丹波・篠山市観光協会・商工会が主催する「丹波まるごと味覚フェア」が篠山市大手前駐車場にて開催され、上久下からは恐竜焼きが出店しました。京阪神からの多くの来訪者に恐竜の里の名物「恐竜焼

き」を味わってもらいました。用意した300食はすべて完売しました。恐竜焼きが阪神間の人にも大きくPRできました。

第5次発掘調査地元説明会

人と自然の博物館は10月22日地域づくりセンターで第5次発掘調査に関する地元説明会を開きました。今回の説明会では午後1時に予定される丹波の森公苑での行政部門の発掘協議会とマスコミ発表に先駆けて地元住民に調査の計画と期待されることなどについての解説がありました。

調査は11月10日から岩盤掘削作業をはじめ、12月11日から手掘り調査を開始し、来年2月中旬に終える予定です。3月末には現場の片づけをして5次調査を完全に終了します。

今回の調査の範囲は4次調査の延長で、川の流れ方向に2〜3メートル、上流に向かっては10メートル程で、4次調査終了間際に発見して埋め戻した胴椎を取り出すことから始まります。未発見の脚や首の骨の他、貴重な化石の発見が期待されます。

11月の予定

- ◆11月3日(祝) 地区文化祭
- ◆10月10日(土) 地域づくりセンター
- ◆11月13日(土) 里づくり協議会定例会
- ◆11月19日(祝) 地域づくりセンター
- ◆11月23日(祝) ふるさと魅力発見ハイクンギ
- ◆9月10日(土) 上久下地内